

# 児童・女性

## 保育園などに子どもを預けていない家庭へのサポートを

橋本久雄議員(緑系) 緊急一時保護以外で、児童の一時預かりシステムはあるか。

市長 ファミリー・サポート・センターや一時保育事業を、来年度から実施する考えはあるか。

このような事業を行っているNPO法人との連携や支援策は考えられないか。

市長 児童養護施設でのショートステイ事業や認証保育所認定保育室で実施している。

計画では平成19年度を目標として、設置や実施の検討となっているが、ファミリー・サポート・センター事業は実施の時期を早めることを検討している。

今後も市民からの問い合わせに際して、事業の紹介に努めていきたい。

## 真の子育て支援になるような次世代育成支援行動計画を

木村まゆみ議員(共産) 次世代育成支援に関するニーズ調査の上位回答は、市はそれをどのように受けとめ、こたえよう

市長 平成15年度の相談件数

よいしょ。もちつき会(花小金井南児童館)



は32件で、児童虐待の防止等に関する法律に基づき、予防、早期発見に努めている。

児童相談所の業務であるため、市の関与は困難である。

市長 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい、子連れでも出かけやすく楽しめる場所を

家族による暴力が主で、事実を隠す傾向があるため発見が難しい。家族を交えた話し合いで解決すべく努力している。

取組として、児童の遊び場と居場所づくりの推進等を定めた。

乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃は財政状況が厳しいため、計画に盛り込むことは難しい。児童館は今後2館の設置を計画に盛り込む考えである。

## 児童虐待 誘拐、高齢者虐待 に対する市の対策は

鴨打喜久男議員(政和) 児童虐待の実態と対策は。一時保護への市の対応は。

児童の安全対策は。今年10月に改正された児童虐待防止法に対する対応は。

高齢者虐待の相談件数、傾向、問題点、対応は。

市長 平成15年度の相談件数

学級編制の弾力化は、各自自治体の実情に応じて、創意工夫することが重要だと考える。

児童・生徒が集団活動の中で社会性を養うという教育効果の観点から、生活集団としての学級には一定の規模が必要であると考える。

## 学校図書館を活用し、子どもを生かした教育を

立花隆一議員(公明) 子ども読書活動推進計画検討委員会での結論は、授業にどのように

反映されるのか。学校図書館懇談会での主要な論点は。

子ども情報のリテラシー育成に対する考え方は。

整備計画により小・中学校の平均蔵書数はふえたか。

有償ボランティア等を活用した司書配置の考えは。

計画の趣旨が具体化されるよう各学校に働きかける。学校図書館の現状と課題を中心に検討を行った。

多様な情報メディアを活用する学習活動を通じて身につくものとする。

平成15年度は前年度に比べ、小学校は1校当たり41冊、中学校は27冊の増である。

各校ごとにさまざまな取り組みが、多くは本の読み聞かせや蔵書の整理等で協力してもらっている。

現時点では考えていない。

## 子どもの健康と性教育

岩本博子議員(緑系) 子ども妊娠中絶、性感染症などの現状についての認識は。

小・中学校における性教育の現状と課題は。

性教育モデル校としての取り組み内容と評価は。

子どもが集まる場所に相談機能をつくる考えはないか。

教育長 メディア環境の状況等をかんがみると、児童・生徒の発達段階に即した適切な性教育が必要と考える。

理科や保健体育等で、計画的に指導が行われている。課題は、学校と家庭が連携して適切な性教育を実施することである。



小平市国際交流協会の窓口(学園西町二丁目)

市内小学生の交通事故件数は。

登下校時の立ち番の現状は。

バートル、立ち番で事故や不審者を発見しているか。

通学路を指定した場合、保護者や地域に周知しているか。

交通安全対策が進み、交通擁護員を廃止したとのことだが、昔と比べ自動車台数が増え、かつ、矛盾していないか。

交通擁護員を小学校1校につき、登校時に1人ずつ配置した場合の経費は。

教育長 平成15年に教育委員会が把握した件数は43件、警察庁の発表件数は79件である。

登下校のいざいざで、週1回以上立ち番を実施しているのは、小学校19校中13校である。

平成15・16年度で、交通事故の目撃が2件、不審者の情報は5件あった。

学校便り等で知らせている。当時と比べ、交通安全施設等が整備されたことから、矛盾しているとは考えてない。

1年で3百4万円かかる。

## 小平市国際交流協会の運営

浅倉成樹議員(公明) 本年4月に組織が再編されたが、その経過と評価及び今後の協会運営の方向性は。

ボランティアの活動はどの

児童・生徒の健全育成推進のために、これまで以上に警察と学校の連携を図る必要があると判断した。

対象事業に係る児童・生徒困を明確にすること等である。

市長 警察に提供する情報範囲を明確にすること等である。

## 都市整備

小平市計画道路 3・3・8号線の計画

佐藤 充議員(共産) 都市計画段階から施工開始までの段取りを市に示しているか。市民に対し事前説明の予定はあるか。

この計画をどう受けとめていくか。玉川上水、住宅地等での整備や住民合意についてはどのように考えているか。

既設の府中街道拡幅も含め、路線の変更をどう考えるか。また、現在の計画と既設道路を拡幅した場合の事業費は。

市長 詳しい説明は受けていないが、アセスメントを行いたいと聞いている。市民への説明は未定とのことである。

多摩地域の主要な南北道路として必要性を認識している。基本的に平面で整備し、事業への理解と協力を得られるよう努力している。

都市計画道路3・3・8号線(小川東町二丁目、三丁目)

警察と学校の相互連絡制度

苗村洋子議員(緑系) 警察と学校の相互連絡制度の協定締結の予定は。

協定締結の必要性はどこにあると考えているか。

具体的にはどのような情報やりとりが想定されるのか。各学校で、警察との連絡の必要性を判断するのはだれか。また、その基準は。

個人情報保護審議会ではどのような議論がされたのか。教育長 準備が整い次第、警察と教育委員会の間で協定書を交わす予定である。

現在のバス路線の一部を、試行的に都営住宅まで迂回させられないか。また、新小金井街道開通後の公共交通網に関する市の取り組みは。

市長 廃止路線の復活や昭和病院からの延伸をバス会社に要望している。現時点では具体化していないが、今後も働きかけを継続していきたい。

運行が実現化する場合に、都と協議していきたい。

ダイヤ見直し等の課題もあるがバス会社に要望したい。新小金井街道開通後のバス路線については、今後必要な働きかけを検討したい。

## 公共交通機関の今後のあり方

華表 暁議員(共産) にじバス利用者の数 運賃収入は。

試行運転が5年間の理由は。類似市の試行運転の日数は。フォロアアップ調査の結果はどうか。

公共交通機関と定期的な情報交換をしているか。

市長 4月から10月までの1日当たりの利用者は約670人で、運賃収入は約千3百44万円となっている。

より利用しやすい運行システムへの改善や充実を図るため、数年の試行期間では評価が困難と判断したためである。

三鷹市は20日間、立川市は2年間と聞いている。

現在集計中なので、まとめ次第報告する。

バス運行後は、西武バス株式会社のみと話し合っている。

## 再び、都営大沼町二丁目アパートにバス路線の確保を

原 邦彦議員(公明) 都営住宅へのバス路線実現に向け、バス会社への働きかけは。

都営住宅への進入路が狭隘とのことだが、改善に向けて都と協議すべきでは。

一般質問